

令和5年8月25日

古河薬剤師会・茨城県介護支援専門員協会古河地区会 合同研修会のご案内

日時：令和5年10月18日（水） 18：50～20：35

会場：ハイブリッド開催（定員：会場50名 Zoom100名）

・リアル会場：古河市総和福祉センター「健康の駅」2階視聴覚室 古河市駒羽根 1501

・WEB（ZOOM）（顔出し、グループディスカッション参加 必須）

参加費：無 料

主催：古河薬剤師会・茨城県介護支援専門員協会古河地区会

【古河モデルの評価とこれからの連携について考える】

総合司会：古河薬剤師会 副会長 田村美帆

18:50～18:55

挨拶 茨城県介護支援専門員協会古河地区会 会長 赤荻 榮一

18:55～19:00

『古河モデルがこれまで得た評価の共有』

古河薬剤師会 副会長 地域連携事業委員会 宇田 和夫

19:00～19:15

『古河モデルの概要と成果』

古河薬剤師会 理事（オレンジ薬局諸川店） 樺山 徳幸

19:15～19:20

特別発言 シドニー大学 Kolling 医学研究所 藤田 健二先生

19:20～19:35

『介護支援専門員から見た古河モデルの有用性』

茨城県介護支援専門員協会古河地区会 副会長 木村 貴政

（ウエルシア介護サービス古河）

19:35～19:55

『古河モデルにおける薬剤師の介入効果』

北海道科学大学薬学部 教授 山下 美妃先生

19:55～20:30

グループディスカッション

「これからの連携と古河モデルの進め方について考える」

茨城県介護支援専門員協会古河地区会 副会長 渡邊 久江

20:30～20:35

挨拶 古河薬剤師会 会長 高橋 真吾

【合同研修会の主旨】

2018年からはじまったケアマネと薬剤師の連携事業『古河モデル』の研究は、ケアマネが服薬スクリーニングをおこない、それを受けた薬剤師が専門的立場から服薬アセスメントをして問題解決する手法が、シンプルかつ両者の強みを活かした連携であり、もたらした結果は、複数の学会等で評価されてきました。また昨年度、茨城県が5つの市で実施したケアマネと薬剤師の連携事業の先行事例として紹介され、古河モデルの考え方を参考にした連携が各地で進められています。さらに、全国市町村の地域包括ケアシステム担当者の会議の場で古河モデルが紹介されたり、厚生労働省から古河モデルの結果に関する情報を求められるなど、今もなお、多くの反響が続いています。

現在は、北海道科学大学の山下美妃先生やシドニー大学の藤田健二先生のご指導を頂きながら、研究成果の論文化を進めているところです。

一方で、研究期間終了後の連携をみると、個別の限られた連携に留まっております。また、古河モデルの事業を経験していない現場のケアマネや薬剤師も増えてきています。

そこで、あらためて、古河モデルの成果を振り返りながら、これからの両者の連携について考えてみたいと思います。

- ※ 古河市・境町・五霞町のみなさまには、先行して下記参加申し込み方法で参加申し込みを行ってください。先行参加申し込み締め切りは9月27日（水）です。その後、アスヤクライフでの申し込み受付を致します（告知は改めて行いません）。アスヤクライフ申込期間は9月28日（木）～10月10日（火）になります。
- ※ 会場参加は、古河市、境町、五霞町限定となります。
- ※ 会場参加者のみ日本薬剤師研修センター認定1単位を予定しております。

【参加申し込み方法】



バーコードを読み込んで、グーグルフォームへの回答をもって参加申し込みといたします。

薬剤師、介護支援専門員、その他の職種の方でも同じバーコードで申し込みが可能です。

< 薬剤師の皆様 >

研修認定については、現地参加のみに付与となっております。
ご注意ください。

問い合わせ先：古河薬剤師会研修会担当 田村 0280-98-1717（共創未来総和薬局）